

平成17年3月23日

南海電気鉄道株式会社

3月26日(土)お披露目します！

みさき公園活性化計画第1弾！！

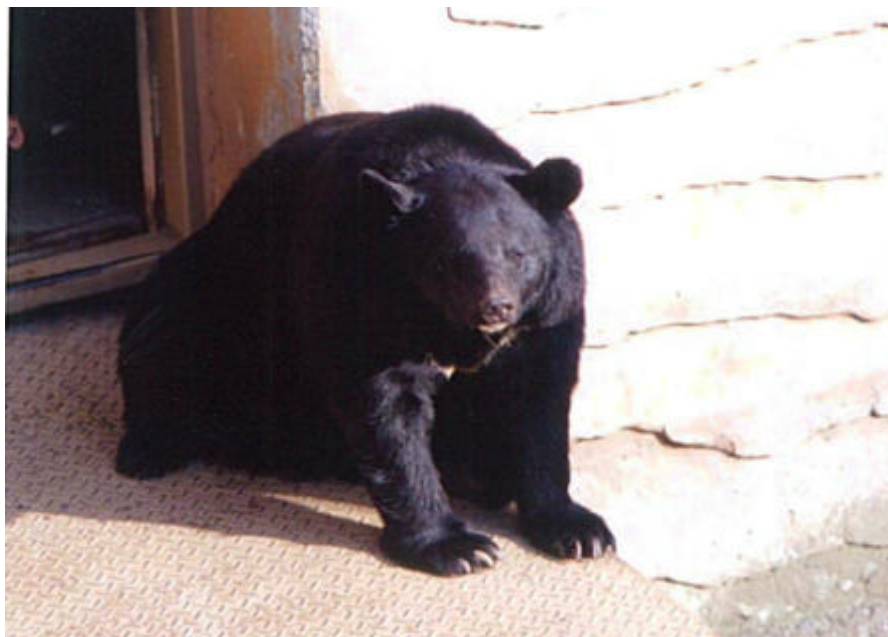
## みさき公園「新ツキノワグマ舎」が完成しました！

南海電鉄(社長：山中 諄)が経営する「みさき公園」(大阪府泉南郡岬町)では、3月26日(土)から新ツキノワグマ舎に、ツキノワグマ2頭が引っ越しをします。

新ツキノワグマ舎は、ツキノワグマがより自然環境に近い状態で生活できるよう工夫を凝らしています。のびのびと生活するツキノワグマの行動をご家族おそろいでお楽しみ下さい。

今後、みさき公園では、開園50周年(平成19年4月)に向け、開園当初の自然動物園としてのコンセプトに基づき、活性化を進めていきます。

詳細は別紙のとおりです。



ツキノワグマ(旧放養場にて)

## みさき公園「新ツキノワグマ舎」の概要

### 1. 公開日

平成17年3月26日(土)10:00より、オープニングセレモニーを実施  
セレモニーの内容は当日来園されたお客さまのうち2組の方々を交えてテープカットを実施します。

(ただし動物の体調などによって公開日を変更する場合があります。)

### 2. ツキノワグマの名前・特徴などについて

クマコ(メス・8歳・体長約160cm・体重約120kg)

(1)生年月日:平成9年1月30日

(2)来園年月日:平成11年4月23日

クマゴロウ(オス・7歳・体長約160cm・体重約100kg)

(1)生年月日:平成10年1月18日

(2)来園年月日:平成10年12月25日

特徴:マイペースな性格のクマゴロウと愛嬌があるクマコの2頭は、いつも一緒に行動し、非常に仲が良く、お客さまの人気者となっています。

### 3. 「新ツキノワグマ舎プロジェクト」参加メンバー

設計:株式会社空間創研

2004年度エンリッチメント大賞(施設飼育部門 主催:市民ZOOネットワーク)を受賞した、天王寺動物園のゾウ舎の設計に携わる。

施工:南海辰村建設株式会社(土木)、丸正建設株式会社(土木)

株式会社アトリエ・ティーエムバーガー(環境演出)

株式会社植健造園(樹木)

監修:中川哲男(前天王寺動物園長)

永田新吾(獣医師・元みさき公園長)

ゲストリサーチ:なんばクリエイターファクトリー

新ツキノワグマ舎プロジェクトについて

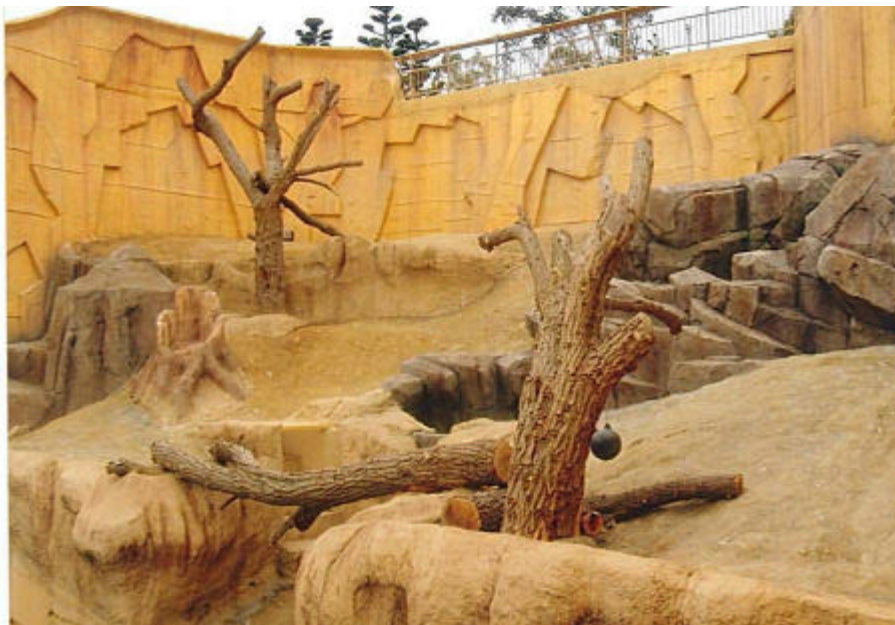
平成16年9月から開園50周年(平成19年4月)に向けた取り組みとして、プロジェクトをスタート。

### 4. ツキノワグマについて

アフガニスタン・パキスタン・ヒマラヤから日本まで広く分布し、日本では、本州・四国・九州に生息しています。木の実や果実、若芽、蜂の子、昆虫、カニ、魚など何でも食べます。冬は岩穴や樹洞で冬眠します。生息域を奪われ、九州ではほぼ絶滅、四国の個体群も絶滅寸前といわれています。

### <みさき公園の概要について>

- 1．営業時間 9時30分～17時00分（5/3～5/5は9:00～17:30）
- 2．休園日 毎週火曜日（3/29・4/5・5/3は開園）
- 3．入園料金 大人（中学生以上）1,200円 小児（3歳以上）600円  
[ 春季催し物開催中（平成17年3月12日から6月19日まで）は  
大人1,300円 小児700円]
- 4．所在地 大阪府泉南郡岬町淡輪3990番地
- 5．園長 坂部 直成
- 6．加盟団体 （社）日本動物園水族館協会
- 7．一般お問合わせ みさき公園（TEL 0724-92-1005）



完成した「新ツキノワグマ舎」